

# 協会けんぽヘルスター認定制度 の創設について



全国健康保険協会 熊本支部  
協会けんぽ

# 熊本支部の健康経営への取り組み①

## 【健康経営セミナーの開催】

早くから事業主へのアプローチの重要性に着目

H25.11

- 健康経営セミナーを全国に先駆けて独自開催（参加者130名）。
- 東京大学健康経営ユニット尾形特任教授・花王株式会社豊澤部長による講演

H27.2

- 熊本県と共催で、健康経営セミナーを開催（参加者180名）
- 東京大学健康経営ユニット古井特任助教の講演、協会けんぽの取り組みについて説明

H27.10

- 熊本県委託事業（協会けんぽ後援）の1コマとして健康経営セミナーを開催
- 古井特任助教の講演、経済産業省ヘルスケア産業課より講演、協会けんぽの取り組みについて説明

※平成26年度：元気な職場づくり支援事業「職場でスモールチェンジ」の開始

■ セミナーは事業主が参加しにくい。 ■ 職員のマンパワー不足による広がり限界

### 【平成27年度パイロット事業】

行政・マスメディアを含めた  
オール熊本による健康寿命延伸事業の推進

#### 【目的】

県民の「健康づくり」及び、事業所における「健康経営」に対する意識高揚に必要な「風土づくり」



### 健康経営取組認定制度の創設

- ・ 保有データを活用し、事業所（中小企業）の健康経営評価基準を策定し、ランクアップを目指す仕掛けを作り、健康経営に向けた取組み変容へのモチベーションに働きかける。
- ・ メディアを使って優良事業所を紹介することにより、広く浸透させる。

# 「協会けんぽヘルスター認定」の流れ



ヘルスターとは、ヘルス（健康health）とスター（☆star）を合わせて名づけました。  
熊本支部の事業所が健康経営に取り組む仕組みを構築しました。  
※「ヘルスター認定」及びマークについては商標登録申請中

## STEP1

社員の健診結果はどうか？

社員の生活習慣はどうか？

### 【1次評価】

健診スコア算出

《定量的評価》

## STEP2

会社は社員の健康づくりに取り組んでいるかな？

### 【2次評価】

ヒアリング調査

《定性的評価》

健康経営取り組み事業所として登録！

調査票に回答された事業所を☆認定！

定量的評価と定性的評価を組み合わせた認定基準の策定



# 健診結果データに基づく一次評価

## 一次評価（155点満点）

全24項目、各項目ごと、重視する度合いに応じ加点・減点の調整をしたうえで、5段階評価の点数を合計。



Ⅱ. 健診受診率80%以上・受診者数10名以上の事業所のうち、【健診スコア】110点上の事業所を抽出し二次調査を実施。



### 健診結果評価項目

	項目	調整		項目	調整	
	★健診受診率（生活習慣病予防健診受診、事業者健診結果提供）	×5	特保・メタボ基準	★1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上かつ1年以上実施	×0.5	
	腹囲(≥85/≥90、≥100cm <sup>3</sup> )	-		★日常生活において歩行又は同等の身体活動を1日1時間以上実施	×0.5	
	BMI(≥25)	-		★ほぼ同じ年齢の同性と比較して歩く速度が速い	×0.5	
	喫煙あり	-		人と比較して食べる速度が速い	×0.5	
	脂質(中性脂肪≥150、HDL<40)	-		就寝前の2時間以内に夕食をとることが週3回以上ある	×0.5	
	血圧(≥130/≥85)	-		夕食後に間食(3食以外の夜食)をとることが週に3回以上ある	×0.5	
	血糖(≥100/≥5.6%)	-		朝食を抜くことが週3回以上ある	×0.5	
	メタボリック予備群	-		毎日2合以上飲酒する	×0.5	
	メタボリックシンドローム	-		がん検診	★胸部X線検査実施	×2
	特定保健指導対象	-			★胃部検査実施	×2
	特保対象で指導未実施	×3	★大腸便潜血検査実施		×2	
勸奨基準受診	血圧(≥160/≥100)	×2				
	血糖(≥126/≥6.5%)	×2				

各種リスクの項目はパーセンテージが小さい方が評価が高い(評価“5”に近づく)

★の項目はパーセンテージが大きいが評価が高い(評価“5”に近づく)

## 二次評価：健康増進への取り組み状況確認①

経済産業省と東京証券取引所が共同で行う健康経営銘柄の調査票、労働局の安全衛生優良企業の評価項目などを参考にしながら作成。

- ◆協会けんぽ加入事業所の場合は、複雑にするとご回答いただけない可能性が高い。
- ◆プロセスや姿勢を評価対象としたい。
- ◆事業主の気持ちを「実践しよう」という方向に向けたい。



**できているかできていないか（○×）をチェック。  
配点はシンプルにし、点数配分も開示。**

# 二次評価：健康増進への取り組み状況確認②

## 二次評価（45点満点）

大項目	配点
■ 企業姿勢・健康づくりの基盤	5
■ 組織体制・健康づくりのPDCA	6
■ 協力・連携	5
■ 健康診断	6
■ 生活習慣病対策	8
■ 過重労働防止対策・メンタルヘルス対策など	10
■ 職場風土	5

## 【加点項目（一部抜粋）】

- ・社内で行っている健康づくりを社外に公開している。
- ・自社の健康課題を把握し、計画的に健康づくりに取り組んでいる。
- ・健康保険委員を登録している。
- ・従業員にがん検診の受診を促進している。  
（女性の乳がん・子宮頸がん検診の検診費用補助など）
- ・喫煙者を減らす取り組みを行っている  
（喫煙者がいない場合も○）
- ・メンタルヘルスに関する各種チェックを実施している（アンケートや面談など）
- ・健康づくり関連イベントを開催している、もしくは外部での開催に企業で参加している  
（スポーツ大会・ウォーキング大会など）

# 健康経営に取り組む事業所のメリット

- ・ 健康な社員が増えることで、企業の生産性・収益性が高まり、企業価値が向上することに加え以下のメリットがあります。

## 1. メディア（熊本日日新聞）での公表

## 2. 支部ウェブサイトにおける公表

健康経営実践企業として支部ウェブサイトにも社名が掲載されることで「従業員を大切にしている企業」としてイメージアップになる。

## 3. 銀行融資の金利優遇

健康経営を実践する事業所は、認定制度を活用した金利優遇制度が利用できる（判断は銀行の判断基準によるもの）。

→株式会社肥後銀行と連携協定の締結

ヘルスター認定証をお持ちの事業所が利用できる融資商品の新設

## 4. 健康経営を実践する事業所が増えることで、将来的な医療費増加が抑制され、熊本支部全体の事業主の保険料負担が軽減される。



# ヘルスター認定状況

健康経営取り組み企業：平成27年度目標 200社！

三つ星は  
熊本県との共同認定！



認定事業所については、  
熊本支部ウェブサイトで社名を公表  
(同意事業所のみ)



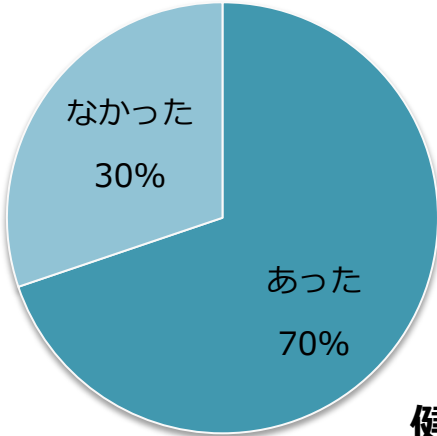
平成28年3月末現在の認定数

三つ星 15社、 二つ星 41社、 一つ星 275社

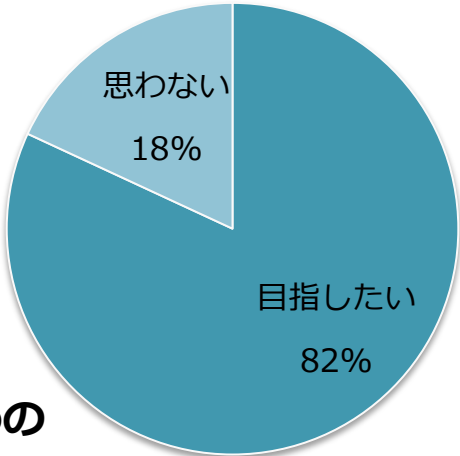
合計 331社！

# 認定企業に対する意識調査

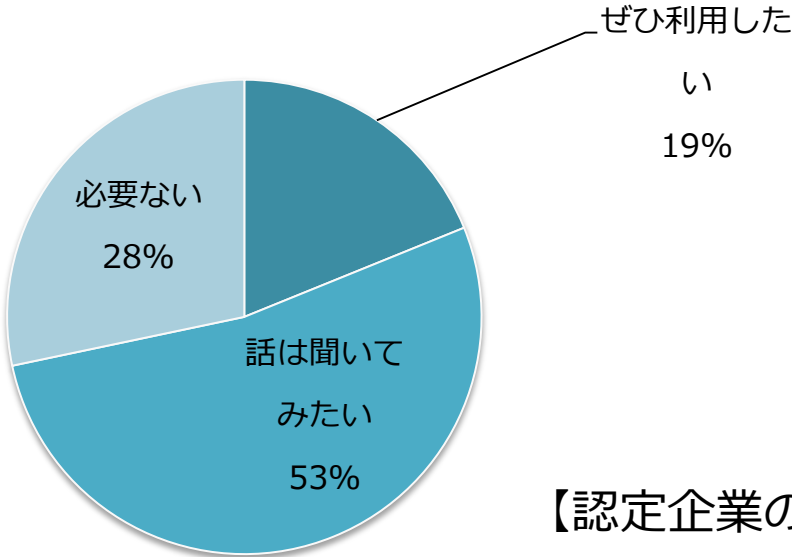
## 認定を受けたことによる意識変化



## ランクアップを目指したいですか？



## 健康経営にさらに取り組むための 支援サービス



【認定企業のうち106社回答】

# 「健康づくり」は企業の「信頼づくり」につながる



★★★専立寺保育園（福祉）  
季平園長「従業員は家族同然  
メンタル面もしっかりサポ  
ートしています」



★熊本部品株式会社（製造業）  
大屋社長「業務の効率化に欠かせ  
ないのが健康」



★★株式会社ユーホーム  
（建設業）上原社長  
「今いる従業員に元気で長  
く働いてもらいたい」

★★協電機工株式会社（総合設備業）  
藤本社長「健康な体・心・脳が会社の土台」